

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2024年1月18日(木)15:30～17:00 懇談会

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長) —

2. ニュースリリース

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長) —

3. みんなく創設 50 周年記念特別展「日本の仮面——芸能と祭りの世界」

[詳しくはこちら](#)

国内各地では、仮面をつけた役が登場する芸能や祭りがおこなわれてきました。本展示では、仮面の役の登場が印象的な各地の芸能や祭りの様相を中心に、あわせて仮面の歴史、仮面と人間の関係などを紹介し、それらをつうじて仮面と人びとの多様なかわりについて考えます。

会 期：2024年3月28日(木)～6月11日(火)
会 場：国立民族学博物館 特別展示館
観覧料：一般 880 円 (600 円)、
大学生 450 円 (250 円)、高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、
リピーターは団体料金を適用
※本館展示もご覧いただけます



— 笹原 亮二 (人類基礎理論研究部 教授) —

4. みんなく創設 50 周年記念企画展「水俣病を伝える」

[詳しくはこちら](#)

水俣病の発見から70年近くがたちました。現在、熊本県水俣・芦北地域では、展示やガイドツアー、写真、語り部講話などを通じ、水俣病の歴史や被害者の苦しみ、公害の経験をいかしたまちづくりなどを伝える活動がさかんです。どのような人がこの活動をしていて、そこにどういう思いがあるのでしょうか。言葉やモノ、映像、場所はどのように活用されているのでしょうか。本展では、水俣病を伝える活動の魅力と、そこから学べるものの可能性を探ります。

会 期：2024年3月14日(木)～6月18日(火)
会 場：国立民族学博物館 本館企画展示場
観覧料：一般 580 円 (490 円)、
大学生 250 円 (200 円)、高校生以下 無料
※()は20名以上の団体料金、
リピーターは団体料金を適用
※本館展示もご覧いただけます



水俣病を語り継ぐ会による朗読会

— 平井 京之介 (人類文明誌研究部 館長補佐、教授) —

5. みんなく創設50周年記念国際シンポジウム

「博物館における資料保存の過去、現在、そして未来」

詳しくはこちら

この半世紀の環境変化や技術の進歩により、博物館での資料保存の考え方や方法は変化してきました。国内外の資料保存を歴史的な観点からとらえなおし、今後の課題を考えます。

日時：2024年2月10日（土）、11日（日）
10：20～（両日とも開場9：45）
会場：国立民族学博物館 みんなくインテリジェントホール（講堂）
主催：国立民族学博物館
共催：文化財保存修復学会
定員：350名（要事前申込み／先着順）
※オンライン配信500名
参加費：無料
申込期間：2月2日（金）17時まで



— 末森 薫（人類基礎理論研究部 准教授） —

6. みんなく創設50周年記念特別研究国際シンポジウム

「ポストナショナリズム時代の博物館——少数/先住民文化展示の動向」

詳しくはこちら

少数/先住民族の存在を前提に新たなナショナリズムの構築が求められる現代において、博物館の果たす役割について考えます。「先住民族の展示/先住民族による展示」、「国民の文化的多様性と統合」、および「博物館からの問いかけ」の3つのセッションを通じて、みんなくおよび世界の主要な博物館の取り組みを比較検討します。

日時：2024年2月25日（日）10：30～17：00（開場10：00）
会場：国立民族学博物館 第4セミナー室（本館2F）
主催：国立民族学博物館
定員：60名（事前申込み／先着順）
言語：英語（日英同時通訳付き）
参加費：無料
申込期間：2月21日（水）17時まで

— 鈴木 紀（学術資源研究開発センター 教授） —

7. みんなく創設 50 周年記念事業公開講演会

「日本の仮面をつくる——現代に生きる神楽面」

[詳しくはこちら](#)

面打ち師、特に日本各地の祭りや芸能で使われる仮面の制作者の存在はあまり知られていません。神楽面の制作を担う若手職人をお招きし、面づくりの現場に迫ります。

日時：2024年3月1日（金）18：30～21：00
（開場 17：30）

会場：オーバルホール
（大阪市北区梅田 3-4-5 毎日新聞大阪本社ビル B1）

主催：国立民族学博物館、毎日新聞社

定員：480名（要事前申込み／先着順）

参加費：無料

申込期間：2月21日（水）16時まで

※館外での開催となります。ご注意ください。

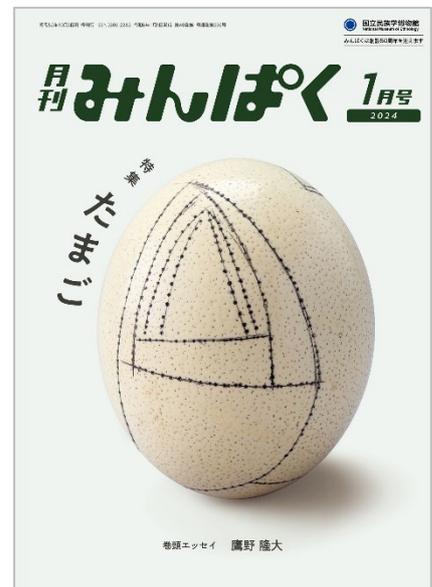


— 鈴木 昂太（人類文明誌研究部 助教） —

8. 創設 50 周年関連事業 『月刊みんなく』リニューアルについて

[詳しくはこちら](#)

1月号よりデザインとコーナーが新しくなった本誌について紹介します。



— 樫永 真佐夫（超域フィールド科学研究部 教授） —



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報・IR係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp